

Koka TIMES

— 心を磨き、技を極め、夢に挑む。 —



三河湾における高潮予測の記者発表

三河湾の高潮が4メートルを超える研究結果を発表 近距離無線を使って衝突危機を警告

- Facebook や twitter で地域おこし
- 幸田町と連携協定締結
- 標高 46 メートルの体育館を避難所に
- 各センターからのお知らせ
- 平成 24 年度行事予定表(10 月～3 月)

編集／発行
愛知工科大学
愛知工科大学自動車短期大学
入試広報センター
〒443-0047
愛知県蒲郡市西迫町馬乗 50-2
TEL. 0533-68-1135
URL. <http://www.aut.ac.jp/>

AUT NEWS & TOPICS

ニュース&トピックス

(平成 24 年 3 月～平成 24 年 8 月)

三河湾の高潮が 4 メートルを超える可能性を予測 「防災に役立ててほしい」と研究成果を記者発表

最新のシミュレーション技法を用いて、高潮を科学的に予測する研究を進めている安田孝志学長の研究グループが、6 月 25 日 (月)、防災科学技術研究所の村上智一主任研究員同席のもと、三河湾での高潮予測について本学で記者発表をしました。

コンピュータで 200 通りの想定実験を行って調べた結果、三河湾では、台風が中心気圧 920～930 ヘクトパスカルで三重県に上陸後、伊勢湾から三河湾の中心 50～60 キロメートル西側のコースを通った場合の高潮は 4 メートル。さらに大潮と満潮が重なった場合は 5 メートルを超え、南海トラフ巨大地震で想定される三河湾の最大津波 5 メートルに匹敵する恐れがあることが分かりました。

これまでの三河湾では、1959 年の伊勢湾台風時に衣浦港 (三河湾西部) で記録された 2.75 メートルが想定される最大値とされ、堤防設計基準の一つになっていました。しかし、今回の記者発表では、これを大きく上回る衝撃的な予測となりました。

安田学長は予測結果とともに、「高潮は長期間継続し、浸水につながりやすい。地震の津波に対する備えも必要だが、台風による高潮への備えも非常に重要である」と注意を呼びかけました。

中日新聞、読売新聞、朝日新聞、毎日新聞、東愛知新聞、東日新聞、蒲郡新聞が大きく紙面に取り上げられたとともに、今後の防災計画の見直しに役立てられると思われます。



本学での記者発表

2012年(平成24年)6月26日(火曜日) *11版 日 30

三河湾 高潮最大4m

伊勢湾級台風上陸時

伊勢湾級台風のコースが三河湾の中心を通過した場合、高潮は最大4メートルに達する可能性がある。伊勢湾から三河湾の中心50～60キロメートル西側のコースを通った場合、高潮は4メートルを超え、南海トラフ巨大地震で想定される三河湾の最大津波5メートルに匹敵する恐れがあることが分かった。

研究グループは、台風が中心気圧920～930ヘクトパスカルで三重県に上陸後、伊勢湾から三河湾の中心50～60キロメートル西側のコースを通った場合、高潮は4メートルを超え、南海トラフ巨大地震で想定される三河湾の最大津波5メートルに匹敵する恐れがあることが分かった。

現状堤防 越える恐れ

高潮の予測
名古屋 5.6m
衣浦港 4.0m
三河湾 3.6m
豊橋 3.7m

高潮が最大になる台風進路
①伊勢湾西部
②三河湾西部
③三河湾

豊橋前芝で高潮3.7m

伊勢湾台風級の発生想定 防潮堤の高さ上回る危険

愛知工科大学(蒲郡市西追分)の安田孝志学長(右)が、今年10月(昭和37年)の伊勢湾台風級の発生を想定した場合、三河湾に起こる高潮の値を予測した。それによると、高浜市で最大の高潮は2.75メートルを超える可能性があることを指摘している。

安田学長は、台風級の発生を想定する際は、台風の中心が三河湾の中心を通過するコースを想定している。このコースでは、高潮は最大4メートルに達する可能性がある。伊勢湾から三河湾の中心50～60キロメートル西側のコースを通った場合、高潮は4メートルを超え、南海トラフ巨大地震で想定される三河湾の最大津波5メートルに匹敵する恐れがあることが分かった。

防潮堤の高さ上回る危険

豊橋前芝の高潮は3.7メートルに達する可能性がある。これは、防潮堤の高さを上回る危険がある。

愛知工科大学の研究グループ

東愛知新聞
平成 24 年 6 月 26 日 朝刊
※この掲載は東愛知新聞の許可を得ています

注目される研究 近距離無線を使って衝突危機を警告！

情報メディア学科 宇野新太郎教授が進めている「近距離無線を使った交差点安全支援の研究」が中日新聞朝刊で取り上げられました。

この研究は、交差点事故の約 7 割を占める信号機の無い交差点事故を未然に防ぐため、ジグビーと呼ばれる近距離無線を用いて、ドライバーに他車が近づいていることを通知するものです。具体的には、端末を車に搭載し、中継機、親機を路上に置いて、2.4 ギガヘルツの無線で通信を行うシステムです。

昨年 10 月から今年 1 月にかけて、蒲郡市内の小規模交差点にて実証実験

験を行い、端末につながるパソコン画面に他車が近づいている警告が表示され、その有効性が確認できました。

従来、総務省主導で首都圏や愛知県で検討されているシステムは、大規模交差点向けが中心であり、小規模交差点までカバーできないのが現状となっています。このシステムを使えば、小規模交差点における出会い頭衝突防止に貢献できるだけでなく、トータルの消費電力やコストを 1/10 以下に抑えることが可能です。

今後は実用化に向けて、さらなる研究が期待されます。



左：実験の様子

右：中日新聞 平成 24 年 8 月 3 日朝刊
※この掲載は中日新聞社の許可を得ています。



Facebook や twitter を活用して地域おこし 学生たちが蒲郡の魅力を紹介し、「いいね」でクチコミ効果が拡大

地元蒲郡の魅力を全国に伝え、蒲郡の活性化につなげようと活動している蒲郡 Fan サークル。

蒲郡 Fan サークルは、蒲郡の街で話題になっている情報や観光スポット、おすすめショップを学生たちが取材し、

学生たちが運営する「蒲郡 Fan」サイト (<http://gamagori-fan.jp/>) に情報を掲載しています。交流サイトの「Facebook」や短文投稿サイト「twitter」で情報発信して、蒲郡に興味がある方や地元の方はもちろん、クチコミ効果が

で積極的なコミュニケーション促進と情報発信を行っています。

また、蒲郡 Fan サークルは、平成 24 年度蒲郡市市民企画公募まちづくり事業助成金「はじめの一步」部門で採択されました。



Gamagori Fan[蒲郡 Fan]サイト



中日新聞 平成 24 年 4 月 19 日朝刊
※この掲載は中日新聞の許可を得ています

幸田町との連携・協力に関する協定を締結 まちづくり、人材育成など 4 分野で連携

4 月 16 日 (月)、幸田町と本学は、まちづくりや産業振興、人材育成などで連携協定を結びました。

調印式では、安田学長と大須賀一誠町長がそれぞれ覚書に調印しました。

本学は蒲郡市と幸田町の境に立地し、幸田町とはすでに図書館の相互協力に関する協定を結んでいましたが、さらなる地域の活性化と人材育成の充実発展に資することを目的に、包括的な協定を結ぶことになりました。

今後、相互の人的及び物的資源の活用により、教育、文化、福祉、産業振興、まちづくりなどの分野において連携を深めていきます。

1. 連携・協定内容

- (1) 地域のまちづくりの推進
- (2) 生涯学習、文化、福祉の向上、スポーツ、健康づくりの振興
- (3) 地域産業の振興
- (4) 人材の育成

2. 幸田町と本学との、これまでの主な連携・協力について

- (1) 幸田町立図書館との相互利用に関する協定の締結
- (2) 幸田町立図書館夏休み教室の企画に協力
- (3) AUT 文化講演会の開催
- (4) 幸田町事業仕分け委員会委員の派遣



幸田町役場で調印後に覚書を手にする
安田学長と大須賀町長

蒲郡市と災害時における施設利用に関する協定書を締結 標高 46 メートルの本学体育館を避難所に

蒲郡市と本学は、災害時に本学の体育館へ「避難所」(一時的な生活場所)を開設できるよう、8 月 1 日 (水) 施設利用協定を締結しました。

蒲郡市は、太平洋沖の南海トラフで巨大地震が発生した場合の内閣府による津波想定を受け、避難所の見直しを進めており、標高 46 メートルに立地する本学は津波や高潮の影響を受けな

いことから避難所設置の要請を受け、協定書の締結に至りました。

本学体育館は、1 階と 2 階で 777 人を収容できます。

調印式で安田学長は「大学は地盤がしっかりしており、避難施設として機能できる。命を守る砦(とりで)として役に立つことができれば」と述べられました。



避難所に指定された本学の体育館

自動車工業学科主催 プリウスPHV車体デザインコンペ 「地球にやさしいきれいな風」に決定

本学の自動車整備実習に使用する車両、トヨタプリウスPHVの車体デザインコンペが7月に開催されました。

「地球にやさしい」「未来・環境・クリーン」「明るい未来」「海と風のイメージ」「新しい風」などをテーマに、本学の学生をはじめ、あいち造形デザイン専門学校などから 234 点の応募がありました。全ての作品から厳正な審査を行い、1 次選考会で 37 点を選考。最終選考会ではあいち造形デザイン専門学校の中島広樹さんがデザインされた「地球にやさしいきれいな風(デザイ

ンテーマ)」が最優秀作品賞を受賞しました。

ご応募いただきました皆さん、誠にありがとうございました。

最優秀賞

あいち造形デザイン専門学校 中島 広樹さん

優秀賞

あいち造形デザイン専門学校 丸山 昇さん

愛知工科大学工学部情報メディア学科 江見 和城さん

入選

あいち造形デザイン専門学校高等課程 大弓 紗綺さん

愛知工科大学工学部情報メディア学科 池田 旭宏さん

愛知工科大学大学院 小田 基貴さん



選考の様子



中島 広樹さんがデザインしたプリウスPHV
デザインテーマ：地球にやさしいきれいな風

「クルージング同好会」発足 三河湾で学長がヨットの操船指導

今年4月に着任した安田孝志学長が「クルージング同好会」を発足させました。

学長自ら30フィート(約9メートル)のヨットを購入し、4月から学生食堂などで学生を誘い、10人程度で同好会をスタートさせることになりました。

さらにこのことが話題となり、中日新聞から取材を受けました。取材において安田学長は、「近年の若者はバーチャルな世界に閉じこもりがち。地元の海で心を磨いて夢に挑み、社会から歓迎される技術者になってほしい」と学生へメッセージを送りました。

7月15日(日)、蒲郡市沖の三河湾で行われた、障害をおもちの方と一緒にヨットの体験乗船を楽しむイベント「第16回ひと・人・ヒト ヨットレース in 蒲郡」で、クルージング同好会の学生たちが、三谷水産高等学校、桜丘高等学校、蒲郡ソフィア看護専門学校などのボランティアスタッフとともに会場設営などの手伝いをしました。



「第16回ひと・人・ヒト ヨットレース in 蒲郡」

情報メディア学科 小塚一宏教授 自動車技術会フェローに認定

情報メディア学科 小塚一宏教授が「2012年自動車技術会フェロー」に認定され、6月5日(火)の自動車技術会中部支部総会の場で認定証およびメダルが授与されました。

小塚教授は、本学赴任前の(株)豊田中央研究所時代から現在まで、ETC(自動料金収受システム)をはじめ、様々な自動車に係わる研究開発に携わり、多大な貢献をしたことが認められました。

自動車は、日本の産業において重要

な部分を担っており、極めて裾野が広い分野の技術で構成されています。

自動車技術会は、自動車技術・学術の進歩発展に係わる活動をグローバルに展開し、自動車技術者・研究者の交流、連携、育成を通じて広く社会に貢献することを目的としている組織です。産業界(自動車メーカー、部品メーカーなど)、大学の研究者と学生、官の研究者などの会員で構成され、会員数4万6千人以上の学会として活動しています。



(第3種郵便物認可)

中古艇購入、自ら操船技術指導

学長のヨットで 「同好会」発進



愛知工科大・愛知工科大自動車短大(蒲郡市)の安田孝志学長(余色)が学生たちに呼び掛け、自ら顧問となる学内ヨットサークル「クルージング同好会」が、今月下旬に発足する。使ったヨットは安田学長が購入したばかりの中古艇。「内なる野生を呼び覚ませ」が合言葉だ。(細井卓也)

愛知工科大
学生たちとクルージング同好会を発足する愛知工科大・愛知工科大自動車短大の安田学長(後列左)蒲郡市海陽町で

安田学長は四月に着任。京都大学院の学生だったころ、琵琶湖でヨットを始めた。岐阜大で勤務していた時にヨット部を立ち上げた経験もある。今春着任してから「マリナーとこんな近い大学はほかにない」とヨットへの思いを募らせ、岐阜大の退職金で三十万円(約九万円)の中古艇を購入。学内食堂で学生たちを誘い、十人程度で同好会を発足することになった。今月十二日には蒲郡市海陽町のラグナマリナに停泊しているヨットを一部メンバーの学生五人に披露した。学生たちはヨットの初心者ばかり。操船技術のコーチを兼任する安田学長は「これがメインセール」のレバーを引くと前進するなどと説明。艇内のラジオを付けてみせ、楽しさも伝えた。

同好会代表に決まった機械システム工学科一年の柴主純さん(ひ)は「学長に誘われた時は驚いた。めったにない機会なので楽しみたい」と話す。今後は週末に三河湾のクルージングに出掛け、海に親しみながら操船を学んでいく。

安田学長は「近年の若者はバーチャルな世界に閉じこもりがち。地元の海で心を磨いて夢に挑み、社会から歓迎される技術者になってほしい」と願っている。

「地元の海で心を磨き 夢に挑んで」

中日新聞 平成 24 年 6 月 19 日 朝刊
この掲載は中日新聞の許可を得ています

情報メディア学科 1 年生 バーベキュー大会で親睦を深める

入学した学生が早く大学生活に馴染み、楽しいキャンパスライフを送れるようにと、4 月 28 日 (土) 市内の蒲郡荘にて、情報メディア学科 1 年生の親睦会が開かれました。当日は初夏を思わせる日差しの中、学生と教員がバー

ベキューを囲み、親睦を深めました。

また、ビンゴ大会も行われて大盛り上がり。何名かの学生は魅力的な景品を獲得していました。

今後も学生と教員の親睦会を継続的に開催していく予定です。



青空の下でのバーベキュー

電子制御・ロボット工学科 学外研修で工場などを見学

1 年生学外研修

5 月 22 日 (火)、(株) デンソーの本社デンソーギャラリーならびに高棚製作所にて研修を実施しました。

新しいロボット技術や未来の自動車技術を体験したり、実際の生産工場における工学技術運用について学ぶことができました。また、バス移動の車内では学生らの懇親も持たれました。

2 年生学外研修

7 月 10 日 (火)、雪印メグミルク豊橋工場にて研修を実施しました。

製造ラインには多くのロボット技術が用いられており、安全・衛生面や自動制御された品質管理体制を見学。

学生たちは、大学で学んだ技術と実際のモノづくりの現場での関連を肌で実感でき、有意義な研修となりました。



上：ギャラリーを見学する 1 年生
下：工場で説明を受ける 2 年生

地域と結びつき 市民イベントへの参加や講座を開催

「森の文化祭」

4 月 29 日 (日)、蒲郡市さがらの森で開催された「第 12 回森の文化祭」に学生会が参加しました。学生会は「わたがし」や「削り絵をつくろう」を出展。削り絵を体験した子どもたちは「クレヨンや木の枝を使ってこんなことができるんだ」と新しい発見をしていました。



削り絵を指導する学生

ひらめき☆ときめきサイエンス

7 月 28 日 (土)、今年度第 1 回目の「ひらめき☆ときめきサイエンス」を開催しました。このイベントは、日本学術振興会により採択され、今年で 6 年連続となります。地元の小学生ばかりでなく、遠方から参加する小学生も

蒲郡商店街「福寿稲荷ごりやく市」

5 月 27 日 (日)、蒲郡フリーダム研究部、FRC 同好会、パフォーマンス同好会の学生が「福寿稲荷ごりやく市」に参加しました。わたがし、ストラックアウト、スーパーボールすくい、スマートボールには 600 名を超える子どもたちで大賑わい。日用品の故障診断には CD プレーヤーの修理依頼などもあり盛況でした。

また、情報メディア学科の学生による「脳波測定」では、二桁の数字を足していく際の集中力やリラックス度を測定。ご年配の方々に大変好評でした。

「とがみっ子夏祭り」

7 月 28 日 (土)、蒲郡市東部小学校 PTA 主催による「2012 とがみっ子夏祭り」に電子制御・ロボット工学科から宇宙航空関連のロボットを出展しました。JAXA と共同開発した月面ローバや小型飛行船ロボットの操縦体験を地元の小中学生や市民に体験していただき、本学での研究成果などを分かりやすく展示することができました。

今後も多くの方々にこのような機会を通して活動を展開していきたいと考えています。



ひらめき☆ときめきサイエンス
プログラミングを指導する学生

機械システム工学科の学生が 動的材料試験機などを使った研究を紹介

「第 3 回ものづくり岡崎フェア 2012」が岡崎市の竜美丘会館で、7 月 10 日(火)から 2 日間で開催され、地元の企業や大学などが多数参加して、新しい技術の指導や紹介をしました。

本学からは、機械システム工学科の山本照美研究室が参加し、動的材料試験機等を紹介しました。

動的材料試験機を使った機械材料の

動的・衝撃的な荷重下における強さや伸びを調べる研究には企業の関心も高く、あいち産業科学技術総合センターの三河繊維技術センターから「実験装置に興味があり設備を見学させてほしい」との要望もありました。

学生たちは、現実のものづくりを肌で感じることができる貴重な時間を味わうことができました。



研究紹介をする学生

クラブやサークルの情報発信に活用しよう 学生会がブログ作成講習会を開催

7 月 17 日(火)、クラブやサークルに参加する学生を対象に、学生会が主催して「ブログ作成講習会」を開催しました。

ブログを通じてクラブの PR や情報発信ができるよう、登録から活用法までを学生会の尾崎元洋さんが分かりやすく説明しました。

参加した学生は、ブログのデザイン選びやコメントの掲載などを早速実践し、クラブ活動などの情報発信にチャレンジしました。

ブログは、常に更新することが重要です。情報発信ツールとして、気軽に活用してもらえればと思います。



ブログの更新にチャレンジ

地元の小学生や婦人会、海外の学生まで 大学・短大の施設や設備を見学

塩津小学校 3 年生

6 月 8 日(金)、蒲郡市立塩津小学校の 3 年生児童 89 名が「私たちが住む町の様子を調べる」社会科学習の一環で、小学校の屋上から見える愛知工科大学を見学を訪れました。広い自動車の実習場やロボットの研究室、様々な実験室を見学して説明を受けると、子どもたちは目を輝かせながらメモを取っていました。

小江公民館女性学級

6 月 14 日(木)、蒲郡市内の小江公民館女性学級の 40 名が大学見学を訪れました。自動車棟の実習場や CAD/CAM 実習室、コンテンツ制作スタジオなどを見学後、学生食堂で昼食をとりました。

参加した方からは「普段の日に大学の学生食堂へ食事に来てもいいですか?」などの声も聞かれ、地元の方に大学を知って頂き、親しみを持っていただくよい機会となりました。

ニュージーランド リトン高校

4 月 9 日(月)、ニュージーランドのリトン高校生が見学を訪れました。

蒲郡港とニュージーランドのギズボーン港は平成 8 年より姉妹港提携を結んでおり、交流の一環で市内にホームステイをしていました。生徒、学校長、市内ボランティアなど総勢 40 名が、研究室や、コンテンツ制作スタジオ、自動車実習場などを見学しました。

中国紫琅職業技術学院

学校法人電波学園と姉妹校提携を結んでいる中国紫琅職業技術学院の学生 12 名が、短期留学プログラムの一環として、7 月 4 日(水)に施設見学を行いました。

自動車を勉強している学生も含まれており、自動車実習場では、担当者の説明を熱心に聞き、多くの写真を撮っていました。



塩津小学校 3 年生



小江公民館女性学級



ニュージーランド リトン高校生

研究室訪問

— 情報メディア学科 吉田研究室 —

吉田研究室では、「データ圧縮」や「電子文書のデータ処理」といった情報化社会の基盤技術の研究をしています。ソフトウェア技術の研究です。

○データ圧縮

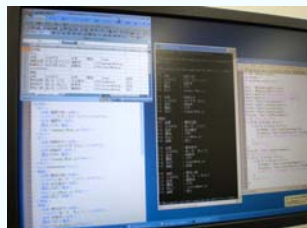
「データ圧縮」は、情報の表現法を取り替えて、情報を保存しつつ、データ量を削る方法です。データ圧縮には、圧縮された情報を完全に復元する「ロスレス圧縮」と、完全には復元しない「ロッキー圧縮」とがあります。ロスレス圧縮は、文書や数値データ、プログラムに使われます。一方、ロッキー圧縮は音声や画像などに使われ、圧縮率の大小で、得られる品質が決まります。ロッキー圧縮は、人間が受け手になるものに使われます。

吉田研究室ではロッキー圧縮において、処理負荷が軽い静止画像圧縮法の研究に取り組んでいます。画像圧縮というと、JPEG（ジェイペグ）は皆さんも聞いたことがあるでしょう。JPEG は、画像圧縮の国際標準化方式です。パソコンやデジカメでは、大抵、画像は JPEG で、1/10～1/20 に圧縮されて格納されています。ロッキー圧縮ですから、皆さんが目で見分らないように画質を劣化させて、圧縮率を稼いでいるのです。デジタル画像は、階調をもつ細かい点の集まりですが、1枚圧縮するのに数百万回の乗算と加算を必要とします。これを、小さい規模のハードウェアで作れるように、半分程度の演算回数で圧縮できないか？について、やり方と実装法を研究しています。

ロスレス圧縮では、機器組込み用コンピュータの命令コードの圧縮も手掛けています。



復元画質を比べて、画像圧縮方式を評価する



XML 文書に直して
データ処理を行う

Profile

吉田 茂
教授・博士（工学）

[専門] データ圧縮、データ工学
[経歴] (株) 富士通研究所



○電子文書のデータ処理

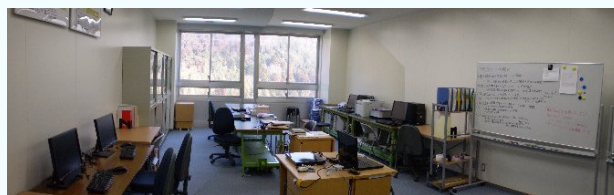
電子文書は「XML (eXtensible Markup Language)」という国際標準化言語を扱っています。XML は「拡張可能なタグ付き言語」の意味です。皆さんは、Microsoft Office を使っているでしょう。Office 2007 からファイルの拡張子（ファイル名の末尾 3 文字 doc、xls）の最後に x が付きました。これはファイルのフォーマットが XML に対応したことを表しています。皆さんは、そうとは知らずに、XML を既に使っているのです。また、皆さんの目には触れませんが、大手の企業の Web サイトは、裏では Web ページが XML で管理されており、Web ページの表示形式である HTML に変換してから見せているのです。XML は皆さんの目に触れないところで、縁の下の力持ちのように役立っています。

さて、XML では表形式の文書と対比すると、項目を<名前>のように“<”と“>”でくくってタグと呼び、<名前>吉田 茂</名前>のように変化する内容を、タグで囲って表します。最初のタグを「開始タグ」、後ろの“/”の入ったタグを「終了タグ」と呼びます。XML は、タグを見ると内容がどういう情報か分るので、コンピュータにやさしい表し方なのです。

XML は、どういうタグの組を揃えるか、タグの組でフォーマットを作り出します。XML は 1998 年に標準化されましたが、これまでに、様々な業界でたくさんの標準タグ・セットのフォーマットが作られてきました。しかし、XML は規格が膨大なため、初心者が使いこなすのは大変です。

吉田研究室では、XML を表形式のものだけに制限して、XML を簡単に扱えるソフトウェアを作る研究をしています。このほか、データ圧縮のハードウェア化を目指すテーマにも手を伸ばしたいと思っています。

平成 24 年度は修士 2 年生 1 人、学部生 7 人です。興味のある方は、ぜひ研究室を訪ねてみて下さい。



平成 24 年度(後期) 行事予定表

※学内における諸事情により、予定を変更することがあります。

短大

	行事	日程
10月	1年 就職模試①	5日(金)
	教育懇談会	9日(火)～19日(金)
	防災訓練	12日(金)
	大学祭	13日(土)、14日(日)
	1年 健康診断	26日(金)
11月	1年 CS教育講座	2日(金)
	1年 就職模試②	30日(金)
12月	1年 学内企業説明会(座談会)	7日(金)
	2年 定期試験	7日(金)～11日(火)
	1年 中古車査定士試験	12日(水)
	2年 成績発表	17日(月)
	1年 学生冬期休暇	22日(土)～
	2年 学生冬期休暇	26日(水)～
1月	学生冬期休暇	～8日(火)
	1年 就職活動調査①	18日(金)
	1年 定期試験	25日(金)～31日(木)
2月	1年 成績発表	5日(火)
	1年 販売士試験	20日(水)
	2年 卒業判定結果発表	21日(木)
	1年 学内企業説明会①	26日(火)
	1年 学内企業説明会②	27日(水)
3月	卒業証書・学位記授与式	14日(木)
	2年 整備士登録試験	24日(日)

大学

	行事	日程
10月	教育懇談会	9日(火)～19日(金)
	防災訓練	12日(金)
	大学祭	13日(土)、14日(日)
12月	学生冬期休暇	22日(土)～
1月	学生冬期休暇	～8日(火)
	定期試験	25日(金)～
2月	定期試験	～1日(金)
	4年 卒論提出期限	4日(月)
	成績発表	12日(火)
	4年 卒業研究発表会	15日(金)
	学内企業説明会①	26日(火)
学内企業説明会②	27日(水)	
3月	4年 卒業判定結果発表	7日(木)
	卒業証書・学位記授与式	14日(水)

大学院

	行事	日程
10月	防災訓練	12日(金)
	大学祭	13日(土)、14日(日)
12月	学生冬期休暇	22日(土)～
1月	学生冬期休暇	～8日(火)
	博士：論文審査申請期限	16日(水)
	博士：審査会・公聴会	31日(木)
2月	修士：論文審査申請期限	8日(金)
	修士：審査会・公聴会	19日(火)
3月	学位記授与式	14日(木)

AUT INFORMATION

お知らせ

学務課

○平成 24 年度教育懇談会

本年は、6 月 30 日(土)～7 月 16 日(月)の間に富山、高山、長浜、石垣、金沢、尾鷲、福井、長野、飯田、静岡、松本、浜松の 12 会場で実施し、大学院、大学、短期大学併せて 65 名の学生の保護者が出席されました。懇談会の中では、教育費・交友関係・日頃の生活態度など、様々なお話をすることができました。中でも、昨今の社会情勢をふまえ就職に関する質問も多くありました。

○奨学金等実績 (8 月 31 日現在)

奨学金等の種類	大学院	大学	短期大学	
日本学生支援機構奨学金	第一種	1	10	2
	第二種	2	46	26
学校法人電波学園奨学金(恒学基金)	0	1	1	
授業料免除	0	9	2	
教育ローン利子補給奨学金	0	0	1	
ファミリー奨学金	—	2	0	
学修奨学金	—	4	4	

なお、本学を会場とした教育懇談会は 10 月 9 日(火)～19 日(金)までの間に実施します。10 月 13 日(土)、14 日(日)は大学祭も開催していますので多くのご参加をお待ちしております。

○課外活動施設の整備

学生のキャンパスライフが有意義で健全なものとなるよう、8 号館 2 階を改修しクラブ部室を 8 室設置しました。活発な活動を期待しています。

事務局

愛知工科大学および愛知工科大学自動車短期大学は、文部科学省所管の大学法人であることから、私立学校法を遵守することを基本としています。

平成 23 年度決算が承認されたことから、この法令に基づいた財務状況についてお知らせをいたします。



資金収支計算書 平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

収入の部	(単位:千円)		
大科目	法人全体	愛知工科大学	愛知工科大学自動車短期大学
学生生徒納付金収入	4,905,528	757,281	297,680
手数料収入	56,117	15,026	3,928
寄付金収入	37,501	2,780	2,091
補助金収入	471,008	34,976	10,499
資産運用収入	1,037,574	21	13
資産売却収入	4,207,829	0	0
事業収入	689,330	75,711	49,533
雑収入	1,292,201	14,097	4,659
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	2,108,633	154,567	72,866
その他の収入	6,251,850	73,339	17,637
資金収入調整勘定	△ 2,034,545	△ 173,014	△ 105,694
前年度繰越支払資金	9,922,480	693,437	578,279
収入の部合計	28,945,506	1,648,201	931,492
支出の部	(単位:千円)		
人件費支出	4,825,947	822,721	301,189
教育研究経費支出	698,013	156,461	64,221
管理経費支出	1,289,757	159,774	88,144
借入金等返済支出	163,819	0	0
施設関係支出	4,820,451	0	0
設備関係支出	239,970	36,827	33,092
資産運用支出	3,524,480	0	0
その他の支出	6,634,674	113,096	43,670
資金支出調整勘定	△ 365,731	△ 58,105	△ 4,987
次年度繰越支払資金	7,114,126	155,921	62,085
支出の部合計	28,945,506	1,386,695	587,414

消費収支計算書 平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

収入の部	(単位:千円)		
大科目	法人全体	愛知工科大学	愛知工科大学自動車短期大学
学生生徒納付金	4,905,528	757,281	297,680
手数料	56,117	15,026	3,928
寄付金	75,003	4,374	2,091
補助金	471,008	34,976	10,499
資産運用収入	1,037,574	21	13
資産売却差額	352,834	0	0
事業収入	689,367	75,711	49,533
雑収入	1,292,315	14,125	4,659
雑収入合計	8,879,746	901,514	368,404
基本金組入額合計	△ 1,028,133	0	0
消費収入の部合計	7,851,613	901,514	368,404
支出の部	(単位:千円)		
人件費	4,756,888	797,358	301,189
教育研究経費	1,426,306	310,586	138,213
管理経費	1,423,238	169,751	89,277
資産処分差額	1,322,802	22,281	6,072
徴収不能額	5,385	0	516
消費支出の部合計	8,934,619	1,299,976	535,267
当年度消費収入(支出)超過額	△ 1,083,006	△ 398,462	△ 166,863

注: △表示は、マイナスを意味する。

基礎教育センター

センターの学習支援は、基本的には個別か数人のグループ形式で行い、数学・物理・英語などの基礎科目を主体していますが、専門科目にも対応します。1、2 年生を中心に毎月大勢の仲間が利用しています。十分な時間をかけて個々人の学力・知識レベルに合わせて納得行くまで指導しますので、学習の消化不良を起こすようなことはありません、安心

して訪れてください。皆さんが自主的に、熱心に基礎学力向上と知識の習得に努めています。講義について行けなくて学習に不安感を持つ人、ぜひ一度センターを利用してください。また、さらに高度で深い内容を進んで学習したいと思う人も大歓迎です。多くの学生諸君に当センターを気楽に利用していただきたいと願っています。今年度、解いて得する

『解得勉強クラブ』を開設しました。国際水準から見ても難問と思われる課題をセンター掲示板に掲示しました。じっくり時間を掛けて解いてみませんか。丁寧に助言指導します。正解に至った時点で君はその分野の最高レベルの基礎知識を習得したことは間違いありません。易しい課題ではありませんが、頑張って挑戦してみませんか。

地域・産学連携センター

近年「産・官・学」連携協力の推進は、我が国の科学技術の発展に貢献する重要な課題として全国的に取り組まれています。本学においても、学外からの技術相談、共同研究等を推進することを目指して、平成 19 年度に「地域・産学連携センター」を設置しました。

地域・産学連携センターは、本学の①社会(地域)貢献活動と②産学連携活動の窓口機能を併せ持つセンターです。

地域貢献としては、平成 23 年度蒲郡市との連携協定、平成 24 年度幸田町との連携協定に基づく協力・支援事業を進めています。

蒲郡市と「がまごおり産学官ネットワーク会議」を中心とした交流サロン(今年度発足)の中核機関(話題提供機関)として、本学の研究シーズを地域の企業等にアピールできるように務めていきます。

また、幸田町とは「幸田町少年少女発明クラブ」の立上げに関わり大学、短大の 12 名の教員(OB 含む)がボランティア

の指導員として協力することになりました。蒲郡市の「福寿稲荷ごりやく市」、地元の「市民まるごと赤い電車応援団」等への参画も、大学・短大として積極的に取り組んでいます。

学会や地域の自治体が主催するシンポジウム、フェスティバル等へ研究成果をパネル、実機(ロボット)で出展し、大学、短大の知名度の向上にも努めています。

東三河地域の蒲郡市、岡崎市、豊橋市等の商工会議所等とも連携を持ち、それぞれの商工会議所の「ものづくりイベント」へ参画し、地元への PR 活動を進めています。

関係教員の協力の下、地域の方々を大学・短大訪問者として受入れ、地元を理解される大学・短大を目指しています。

こういった、地域貢献、産学連携活動の中で多様な業種の民間企業との、共同研究をスタートさせることができました。また、企業からの技術相談も受け入れて、

社会貢献ができるように学内の対応体制・組織を順次整えています。

今後予想される東海・東南海・南海 3 連動地震の被害を軽減するため、東三河全 8 市町村と 4 大学による東三河地域防災研究協議会が今年度から発足し、本学も参加しました。

東三河地域の国公立大学の産学連携活動の情報交換の場である「東海 iNET」、名古屋大学を中心とした愛知県内の高等教育研究機関、科学館等による「あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク」への参画と、大学間の連携活動へも積極的に参画し活動しています。

連絡・お問い合わせ先

地域・産学連携センター

地域・産学研究協力室

E-mail:chiiki@aut.ac.jp

Tel:0533-68-1304(内線:2122)

メディア基盤センター

○ウィンドウズ OS だけでなく、他のソフトの『アップデート』も実行しよう

皆さんのパソコンに「Adobe Flash Player」や「Adobe Reader」、「JRE (Java)」がインストールされている事をご存じですか? これらのソフトは Web ページを閲覧するのに必要なソフトですが、ウィンドウズとは別にアップデートする必要があります。

アップデートを怠ると、セキュリティソフトを入れたパソコンを注意深く操作

していても、Web ページを開くだけでウイルスに感染してしまう危険があります。アップデートを欠かさずに行っていれば、被害を大幅に減らすことができます。画面上にアップデートを促すウィンドウが表示されたら忘れずにアップデートをお願いします。

○インストールメディアの販売について

Windows 7 や Microsoft Office 2010 のインストールメディアを販売しています。

最新のワードやエクセルを自宅のデスクトップパソコンや自分のノートパソコンへインストールできます。

卒業年度生の最終申込みは来年 1 月末日です。2 月以降の申込みでは卒業日以降の納品となるため、お渡しできません。卒業年度生の購入希望者は 1 月末日までに忘れずに申込み手続きを完了するうにお願いします。

使用条件・詳しい内容につきましてはセンター事務室にて案内しています。

図書館

○幸田町立図書館連携事業

7 月 26 日 (木)、幸田町立図書館において小学生を対象とした夏休み理科教室を下記の通り開催しました。
テーマ：『紙ヒコーキ・紙コプターを飛ばそう!』

講師：自動車工業学科教授 橋本孝明
同 助教 長谷川康和
6 月 9 日 (日) 幸田町立図書館でのビジ

ネス講座において自動車工業学科助教 長谷川康和先生が講演しました。
講演テーマ：『車を取り巻く環境と私たちにできること～自動車の賢い乗り方とメンテナンス、技術の現状』

○新着図書

平成 24 年度前期、約 250 点の図書資料等を受入れました。

○定期購読新聞

9 月より毎日新聞、読売新聞の 2 紙を追加しました。現在図書館で購読している新聞は以下の通りです。

- 全国紙：朝日新聞、毎日新聞、読売新聞、日本経済新聞
- 地方紙：中日新聞、東愛知新聞、東日新聞、蒲郡新聞
- 業界紙：日経産業新聞、日刊工業新聞、日刊自動車新聞

ものづくり工作センター

「研究から部活やホビーまで、各種“ものづくり”支援」を合言葉に、本学での卒業研究・サークルや部活動での支援と並行して、さらに広く地域社会に開かれた「ものづくり工作センター」を目指して活動を展開しています。
機械加工室では、旋盤・フライス盤・ボール盤・コンターマシン(帯のご盤)等が設置され、手軽に金属等の機械加工ができます。木工加工室では、帯ノコギリ盤・糸ノコギリ盤・電動ノコギリ等があり、木材の加工が簡単にでき

ます。電子工作室には、各種電子計測器が取り揃えてあり、電子工作が気軽にできます。

また、今年度は、ものづくりに欠かせない工作機械等の活用のための「工作機械・電動工具の取扱い安全講習」を実施し、約 50 名の学生に修了証を発行しました。卒業研究や部活動に役立ててもらえと考えています。

さらに、精密な装置や機械を製作するのに欠かせない三次元測定機の活用準備を進める予定です。

今後の活動計画として、①AUT 祭 (大学祭) における「3 次元ものづくり体験」支援、②蒲郡市「ごりやく市」への出展支援、③ものづくり体験講座の計画実施、その他、日常活動として卒業研究および部活のための機械加工および電子回路製作支援、「ものづくり」全般についての相談やアドバイスを行っていきます。

1 号館 1 階 1107 室にて、当センタースタッフ一同、皆様のご利用をお待ちしています!!

キャリアセンター

文部科学省 学生/就職支援推進プログラム」の 評価結果が「S」

平成 21 年度に文部科学省から採択を受けて、これまでキャリア教育の一環として推進してきました「大学教育・学生支援推進事業 学生/就職支援推進プログラム」が、総合評定「S」(目標に沿った取組が実施されており当該目標を十分に達成している)を受けました。本事業は学生の就職率向上やキャリア形成の促進を図ることをねらいに、達成目標を明確にした効果が見込まれる取り組みに財政支援が

行われ、本学は「学士力と就職力を伸ばす就職支援アセスメントを活用した学生支援」(名称)が選定され、760 万円の補助金を受けて取り組んで参りました。なお、評定理由(総論)は次のとおりです。

「キャリア教育が単なる就職活動スキルにとどまらず、基礎学力の形成とセットで推進され、両者を関連付けている点、および第 1 学年から進路選択が本格化する第 3 学年にかけて、キャリア支援の段階を踏んでカリキュラムが組まれていることは、特に優れている。

本事業のプログラムは 3 年目には正課になり、単位化が図られた。平成 25 年には 1~3 年までの共通教育科目となることになっている。本事業の成果の上に、今後、学科の特色が活かされたキャリア教育を目指す方向性が明らかにされている。(以上、原文どおり)

キャリア教育は社会的自立や職業的自立、さらに将来にわたる持続的な就業力を高めるために行います。学科の学びをしっかりと身につけながら、キャリア教育(科目名：キャリア形成と職業)との併修により夢の実現に近づきます。

AUT 祭 10 月 13 日(土)・14 日(日) 午前 10 時~午後 4 時

大学祭のご案内

10 月 13 日 (土)

- 美少女アイドルライブ「dela (デラ)」
- 大道芸人「快斗」出演
- 大抽選会 ほか

10 月 14 日 (日)

- ひろはま かずとし氏 講演
- 吉本興業お笑いライブ&映画(無料)
- 遠藤正明 TV アニメ主題歌の生ライブ

両日共通イベント

- キッズダンス、模擬店
- ロボット操縦体験&ゲーム
- 学科展、研究室公開 ほか